外国語（英語）科学習指導案

日　時　令和８年１月 27 日（火）
第５校時　13:30～14:20
学校名
対　象　第２学年　組　名
会　場　２年　組教室
授業者

１　単元名

Lesson 8 *Rakugo* Goes Overseas *NEW CROWN English Series 2*

２　単元の目標

ＡＬＴに日本の伝統芸能について知ってもらうために、自分の興味のある伝統芸能についてまとまりのある文を書くことができる。

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　現在完了形の意味や働きを理解している。 ②　日本の伝統芸能についてまとまりのある文を書く技能を身に付けている。 ③　日本の伝統芸能である「落語」を知るために、それに関して書かれた英文を読み、必要な情報を捉える技能を身に付けている。	①　日本の伝統芸能についてまとまりのある英文を書いている。	①　日本の伝統芸能についてまとまりのある英文を書こうとしている。

４　指導観

⑴　単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）の第２章　第９節　外国語　第２　英語
１　目標　⑸　書くこと

ウ　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

また、同２　内容　〔知識及び技能〕　⑴　英語の特徴やきまりに関する事項

エ　文、文構造及び文法事項
(ｳ)　文法事項
e　動詞の時制及び相など
現在形や過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形、現在完了進行形、助動詞などを用いた未来表現

加えて、同２　内容　〔思考力、判断力、表現力等〕　⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

イ　日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

そして、同２　内容　⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項

①　言語活動に関する事項
カ　書くこと
(ｴ)　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。

②　言語の働きに関する事項 イ　言語の働きの例 (ｳ)　事実・情報を伝える ・　説明する

を受けて設定した。この単元の最後には、ＡＬＴに日本の伝統芸能について知ってもらうために、自分の興味のある伝統芸能についてまとまりのある文を書く言語活動までを行う。

⑵　生徒観

本校の第２学年は３学級あり、１学級２展開、２学級３展開の習熟度別少人数学級を編成している。

第２学年では、「書くこと」として、日本語の本の紹介、地球環境問題、日本でのおすすめのお土産について書く活動に取り組んだ。生徒はできるだけ簡単で、読み手が理解しやすい表現を選びながら、友達と教え合って英語の学習に取り組んできた。生徒の授業への取組は良好であり、意欲も高い。課題などにも真面目に取り組む様子が見られ、検定にも挑戦する生徒が増えてきている。しかし、中には使用すべき語いが分からず活動が止まる生徒や文の書き方に戸惑う生徒もいる。英語に対して苦手意識をもつ生徒も自分の力で英文をつくり、達成感を得ながら、自信をもって言語活動に取り組めるよう、指導していく。

⑶　教材観

本単元では、英語落語について学ぶ。日本の伝統芸能を海外に伝える意義や、披露するときに気を付けるべきことについて取り上げられている。落語について知ることで、生徒には日本の伝統芸能について関心をもてるようにする。国際社会で活躍する生徒の育成を図る上でも、自国の伝統文化について知り、外国の人々に発信できるように指導していく。以前は英語で語る落語家はほとんど存在しなかったが、この単元で扱われている落語家の大島希巳江さんは、日本人と世界の人々が笑いを共有することで友好な関係を築き、それにより平和な世界を築くことを信じて英語落語を続けている。大島さんの想いを知ることで、これまで日本の伝統芸能を継承してきている人たちの想いについても考えさせる単元にする。

この単元の各Partの読み取るべき必要な情報の解釈例と、最終的なまとまりのある文の例は以下の通りである。

(例)

	概要	要点
Part 1	What is *rakugo*?	The *rakugo* performer will act out all the characters' conversations. She'll change her voice and facial expressions.
Part 2	How do *rakugo* performers use a *sensu* and a *tenugui*?	I can use the *sensu* as a pen or chopsticks. I can use the *tenugui* as paper or a purse.
Goal Activity	Why Ms. Oshima Started Performing *Rakugo* in English.	I wanted to share Japanese humor with people all over the world.
	About Difficulties Ms. Oshima Had in *Rakugo* Performances in English.	Sometimes there are cultural differences between Japan and other countries.
	What Ms. Oshima Has Learned from Her Performances around the World.	Well, in my opinion, we're different, but we also have things in common, like laughter.
	Her Future Plans	To continue spreading laughter. I hope this will lead to a more peaceful world.

(Introduction)

Have you ever seen *kabuki*?

(Body)

Kabuki is one of the Japanese performing arts. I have seen *kabuki* once. *Kabuki* started in the Edo period. People have enjoyed it for a long time. The root of "*kabuki*" is "eccentric". Shamisen are used in kabuki theater. Shamisen are Japanese guitars. Only

men perform in *kabuki*. Some men make up and act like women.
(Conclusion)
When I saw *kabuki*, I was really impressed. The performance was amazing. I am sure the actors practice hard. I hope you will like *kabuki*. I also hope this Japanese performing art will continue from now and on, too!

5　年間指導計画における位置付け

	単元名	焦点領域
第1学期	Lesson 1 Meet New Friends	話すこと［やり取り］
	Lesson 2 Fun with Books	書くこと
	Lesson 3 My Dream	話すこと［発表］
第2学期	Lesson 4 Safe Clean Water	読むこと
	Lesson 5 Visiting Australia	聞くこと
	Lesson 6 Friends from Singapore	話すこと［発表］
第3学期	Lesson 7 Gifts from China	書くこと
	Lesson 8 *Rakugo* Goes Overseas　（本単元）	書くこと

6　単元の指導計画と評価計画（全９時間）

	目標	○学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）
第1時	単元の目標を理解し、見通しをもつ。	○　単元の目標の理解 ・　本単元で行う言語活動(日本の伝統芸能についての英文を書く)について見通しをもつ。 ・　日本の伝統芸能について、知っていることをペアでやりとりをする。 ○　Listening ・　聞くポイントを示し、伝統芸能である落語について聞きとる。 ・　理解できなかった単語を共有する。 ・　内容を全体で確認する。 ○　落語の動画視聴 ○　日本の伝統芸能についてのメモの作成 ・　自分が知っている日本の伝統芸能について、知っていることを書き出す。	ウ－① （観察、ワークシート）
第2時	Part 1 Scene 2 の対話文の概要を捉え、落語の演じ方について知る。	○　本文内容の推測 ・　ピクチャーカードを示し、どのような対話をしているのか予測する。	ア－③ （観察、ワークシート）

		○　Oral Introduction ・　Oral Introduction を聞き、内容を推測する。 ・　リスニングとリーディングによる内容理解を個、ペア、クラスと広げて行う。 ○　本文内容理解 ・　落語について理解を深める。 ○　音読練習 ・　各自速度調整をしながら音読練習をする。 ○　興味のある伝統芸能について端末を利用して調べる。 ○　振り返り	
第3時	Part 2 Scene 2 の英文の要点を捉え、落語で使用する小道具について知る。	○　本文内容の推測 ・　ピクチャーカードを示し、どのような対話をしているのか予測する。 ○　Oral Introduction ・　Oral Introduction を聞き、内容を推測する。 ・　リスニングとリーディングによる内容理解を個、ペア、クラスと広げて行う。 ○　本文内容理解 ・　対話文の概要を確認する。 ○　音読練習 ・　各自速度調整をしながら音読練習をする。 ○　伝統芸能で使用する道具について調べ、これまでに調べたことをグループで意見交換をする。 ○　振り返り	アー③ （観察、ワークシート）
第4時	落語家の大島希巳江さんの伝えたい想いについて知る。	○　オーラルイントロダクションを通した英文把握 ○　本文の通読 ・　大島さんの回答の主語、述語部分に注目しながら通読する。 ○　概要把握 ・　大島さんの回答から、大島さんの想いを理解する。 ○　音読練習 ・　内容が聞き手に伝わるように、音読する。 ・　自己調整をしながら音読練習をする。 ○　伝統芸能を継承していく人々について考える。 ○　振り返り	アー③ （観察、ワークシート）

第５時	興味のある伝統芸能について、調べたことをまとめる。	○　言語活動に向けての導入 ・　様々な伝統芸能について、各自で調べ、そのうちの興味あるものを選ぶ。 ○　ブレインストーミング ・　日本の伝統芸能についてブレインストーミングをし、各自で選んだものについて、グループで意見を出し合う。 ○　振り返り	ウ－① （観察、ワークシート）
第６時（本時）	日本の伝統芸能についての英文を書くために、アウトラインを作成する。	○　まとまりのある文構成の理解 ・　Part 2 の文章を参考にしながら、モデル文を読み、構成の確認をする。 ○　アウトラインの作成 ・　英語でアウトラインを作成する。 ○　意見交換 ・　ペア、グループでアウトラインについて意見を交換し合う。 ○　まとまりのある文の構成についての確認 ○　意見交換 ・　アウトラインを読み合い、お互いにアドバイスをする。 ・　内容や英語の表現について見直す。 ○　振り返り	ア－② （観察、ワークシート） ウ－① （観察、ワークシート）
第７時	新出の文法について理解する。	○　文法事項の理解と練習 ・　本文の中で扱われている現在完了形の確認をする。 ○　ドリル練習と表現活動 ○　振り返り	ア－① （観察、ペーパーテスト）
第８時	ＡＬＴに日本の伝統芸能について知ってもらうために、自分の興味のある伝統芸能についてまとまりのある文を書く。	○　下書き ○　まとまりのある文の清書 ・　下書きを基にまとまりのある文を書く。 ・　ペアで確認後、グループで共有する。 ○　振り返り	ア－② （観察、ワークシート ウ－① （観察、ワークシート）
第９時	本単元のまとめをする。	○　フィードバック ・　生徒同士でフィードバックを行う。 ・　前時の書いた英文について練り直しをする。 ○　振り返り	イ－① （観察、ワークシート） ウ－① （観察、ワークシート）

7　指導に当たって

ア　日本の伝統芸能について考え、どのような表現が相手にとって理解しやすいかを意識して学習活動に取り組むことで「主体的な学び」を促す。

イ　他の生徒とのやり取りや全体のフィードバックを通して、自分の表現をよりわかりやすいものにするためにお互いにアドバイスし、自分の表現を見直すことで「対話的な学び」につなげる。

ウ　モデルとなる表現や良い表現を共有していくことで、自らの表現を再構築し「深い学び」につなげる。

8　本時（全９時間中の第６時）

⑴　本時の目標

日本の伝統芸能についての英文を書くために、アウトラインを作成する。

⑵　本時の展開

時間	○ 学習内容　・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準（評価方法）
導入 ３分	○　挨拶 ○　本時の目標確認	・　日本語から英語に意識を切り替え、生徒が英語を使おうとする気持ちを高める。 ・　本時の授業への意識を高める。	
展開 45 分	○　アウトラインの作成 ・　英語でアウトラインを作成する。 ○　意見交換 ・　ペア、グループでアウトラインについて意見を交換し合う。 ○　まとまりのある文の構成についての確認 ○　意見交換 ・　アウトラインを読み合い、お互いにアドバイスをする。 ・　内容や英語の表現について見直す。 ○　振り返り	・　アウトラインの各段落の概要例 ①　序論 興味のある伝統文化 ②　本論 取り上げた伝統芸能の説明 ③　結論 興味のある理由や自分の考え ・　内容が読み手に伝わりやすくなるようなアドバイスを行うよう指導する。	アー② 日本の伝統芸能についてまとまりのある文を書く技能を身に付けている。 （観察、ワークシート） ウー① 日本の伝統芸能についてまとまりのある英文を書こうとしている。 （観察、ワークシート）
まとめ ２分	○　次回の予告 ○　挨拶	・　生徒に次の授業への見通しがもてるよう次回の予告をする。	

⑶　板書計画

本時の目標　　Tuesday, January 27th

日本の伝統芸能についての英文を書くために、アウトラインを作成する。

□ Brainstorming
□ Create an outline in English
□ Review

本時で学んだ表現などを、板書する。

電子黒板
（デジタル教科書、プレゼンテーションソフトの映像を映す）

⑷　授業観察の視点

ア　日本の伝統芸能について考え、どのような表現が相手にとって理解しやすいかを意識して言語活動に取り組むことで「主体的な学び」を促す。

イ　他の生徒とのやり取りや全体のフィードバックを通して、自分の表現をよりわかりやすいものにするためにお互いにアドバイスし、自分の表現を見直すことで「対話的な学び」につなげる。